

平成30年度 事業報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日
一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

当センターは、飛騨地域の地場産業の発展と地域経済社会の活性化に貢献すべく、行政機関・地域業界との連携を密にし、またセンターの有する機能を効果的に活用しながら地場産品・展示普及事業、地域人材確保・養成事業、活性化対策事業、販路開拓事業等の諸事業を実施してきました。

平成30年度に於いては、地場産業界全体の厳しい状況を鑑み、外に向かったの積極的な情報発信が今まで以上に必要となっていることから、首都圏をはじめとした諸地域での各種地場産品紹介、商品力の強化、次代を担う人材の育成など、当初事業計画に基づき地場産業振興に資する諸事業を実施いたしました。加えて農業・農産物も貴重な地場産品と捉え事業を実施いたしました。

以下、平成30年度に実施した諸事業についてご報告いたします。

I. 公益目的事業

1. 地場産品展示・普及事業

(1) 飛騨地域の農業生産業種事業所発掘実態調査

①実施目的

飛騨地域の農業・農産物も貴重な地場産業・産品である観点から、平成30年11月に高山市で開催された第20回米・食味分析鑑定コンクールで、飛騨のお米が過去最高の評価を得た軌跡を調査・報告し、飛騨のお米の食のブランド化を促進した。

②報告書 400部

(2) 飛騨・装飾小物新作開発事業

①実施目的

生活スタイルの変化などにより、伝統的工芸品の売上が鈍化しており、新商品の開発が望まれている。培った技術を活かして、装飾小物を中心とした新たな視点での製品の試作開発を行い、ものづくり業界の活性化を誘引することを目的に実施した。

②参加者

阿多野 一夫（飛騨春慶塗師）、久世 尚可（蒔絵）、片岡 紀子（木工）、
小坂 礼之（木彫）、中畑 朋子（染織）、田島 敬子（ガラス）、野垣内 秀也
（一位一刀彫）、鷺塚 沐仁（同）挟土 宝眼（仏師） 合計9名

③試作内容

ブレスレット、ペンダント、チョーカー、指輪、カバン、ブローチ

合計18点

④アドバイザー

パルス・デザイン企画事務所代表 加藤 尚子

⑤宣伝広告

チラシ 3,000枚

ポスター 10枚

ホームページ掲載 <http://www.hidajibasan.com/kougei-project/>

(3) 飛騨・暮らしの工芸品展示会

①実施目的

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他にも、陶磁器・木工・紙製品・ガラス・布製品・染物・竹細工など数多くの優れた工芸品が作られおり、全国的な知名度・認知度を高めるため、積極的かつ継続的なPRが必要であることから、首都圏においてこれら工芸品の良さを広くPRするための展示会を実施した。

②実施期間

平成31年2月22日（金）～24日（日） 3日間

③実施場所

横浜市 西区 高島町2-12-6 横浜新都市センターB2・新都市プラザ

④展示内容

ア. 工芸品展示コーナー

飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器（小糸焼・渋草焼）、布細工・染物・鉄工製品・桐細工・和紙・ガラス・竹細工・わら細工 約200点

イ. 飛騨・装飾小物新作開発事業作品展示コーナー

ウ. 制作実演コーナー

エ. 観光・工芸品パンフレットコーナー

⑤制作実演者

飛騨檜笠製造組合 問坂 義一

⑥入場者数

約18,000人

(4) 飛騨の物産PR事業

①実施目的

歴史の中で培われた伝統・文化・豊かな自然などの観光資源をはじめ、各種物産を広く紹介することで、観光客の誘客、物産の販路開拓・需要拡大を図るために実施をした。

②実施期間・実施場所

<今治会場>

ア. 実施期間

平成30年10月13日(土)・14日(日) 2日間

イ. 実施場所

愛媛県今治市旭町2-3-5

今治地域地場産業振興センター 今治せんいまつり '18

ウ. 出展 飛騨地域の物産紹介コーナー、観光紹介コーナー

エ. 入場者数 約11,000人

<防府会場>

ア. 実施期間

平成30年11月10日(土)・11日(日) 2日間

イ. 実施場所

山口県防府市八王子2-8-9

山口・防府地域工芸地場産業振興センター

デザインプラザHOFU じばさんフェア '18

ウ. 出展 飛騨地域の物産紹介コーナー、観光紹介コーナー

エ. 入場者数 約20,000人

(5) 飛騨の伝統的工芸品展

①実施目的

飛騨地域の代表的工芸品である飛騨春慶、飛騨一位一刀彫及び陶磁器(小糸焼・渋草焼)を、観光客・市民に向け広く紹介することで、伝統的工芸品の魅力の再発見、販路拡大につなげることを目的に実施した。

②実施期間

平成30年11月1日(木)～7日(水) 9:00～19:00 7日間

(展示は、11月30日まで常設展示として継続)

③実施場所

飛騨高山まちの博物館 高山市上一之町75

④展示内容

飛騨春慶、飛騨一位一刀彫、小糸焼、渋草焼芳国舎 82点

⑤入場者数 995人

⑥広告宣伝

チラシ 3,000枚

ポスター 50枚

月刊さるぼぼ広告掲載(1誌) 56,000部

(6) 飛騨の工芸品PR事業

①実施目的

飛騨地域で制作されている家具・クラフト・工芸品を、現代の暮らしの中に落とし込み、販路拡大を目的にライフスタイル展を実施した。

②実施期間

平成30年9月5日（水）～9日（日）9：00～17：00 5日間

③実施場所

飛驒・世界生活文化センター コンベンションホール

高山市千島町900-1 飛驒の家具フェスティバルに小間出展

④展示内容

家具、木工、染色、ガラス、桐細工、金工、建具 16名 約350点

⑤入場者数 33,800人

2. 地域人材確保・養成事業

(1) 飛驒地域ものづくり技能向上研修

①実施目的

飛驒地域には、伝統工芸を始めとして、多くの優れた技や技術が蓄積されており、次の世代へ引き継がれることが重要である。家具や木工の若手を対象に第一線の職人から直接指導してもらうことで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施をした。

②実施期間

平成30年7月30日（月）～平成31年2月19日（火）

③研修内容

ア. 木工ろくろ（二人一組が8回研修。延べ64回・120人）

ろくろ成形は、木工加工の基礎技術であることから刃物の扱い方・成形の基礎を習得した。

- ・課題 < 皿 > 刃物の扱い方・削り方の基本・刃物の作り方
- ・講師 木地師（木工ろくろ） 川上 憲一
- ・参加者 15名

イ. 曲げ物（13人が2回研修。延べ2回・26人）

飛驒春慶の木地の一つである曲げ物の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

- ・課題 < 小判弁当／丸弁当 > 木地加工・曲げ・かんば綴じ
- ・講師 木地師（曲げ物） 西田 恵一
- ・参加者 13名

ウ. 飛驒春慶塗（13人が12回研修。延べ12回・156人）

当地の代表的工芸品である春慶塗における、漆の扱い方・漆の塗り方の基礎を習得した。

- ・課題 < 曲げ物での制作品等 >
目止め、下地塗り、飛驒春慶仕上げ塗り
- ・講師 塗師 鈴木 俊文
- ・参加者 13名

エ. 鍛冶（二人一組で4組が1回研修。延べ4回・8人）

焼き入れをはじめとした金属成形の基礎を習得した。

- ・課題 < 金づち > 焼き入れ、鍛金、打ち抜き

- ・講師 新名鍛冶屋 新名 清雄
- ・参加者 8名

オ. 金継ぎ (15人が8回研修。延べ8回・120人)

日本の伝統的な器の修復技術である金継ぎの技法の基礎を習得した。

- ・課題 <器の修復>
- ・講師 尚可舎 久世 和政
- ・参加者 15名

※5種類の研修に参加した人数等

- ・実人数 49人
- ・延べ回数 90回
- ・延べ人数 430人

3. 地場産業活性化対策事業

(1) 飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨地域で生産される食料品を広く紹介し、「飛騨の味」の需要促進と販路拡大を図ることを目的に、春と秋の2回(第62・63回)実施をした。

②<春>

- ア. 実施期間 平成30年5月26日(土)・27日(日) 2日間
- イ. 実施場所 本町1・2丁目商店街
- ウ. 出店者数 47
(高山市31・飛騨市7・下呂市2・飛騨地域1(酒造組合)・その他6)
- エ. 入場者数 41,000人

③<秋>

- ア. 実施期間 平成30年9月8日(土)・9日(日) 2日間
- イ. 実施場所 本町1・2丁目商店街
- ウ. 出店者数 49
(高山市33・飛騨市5・下呂市2・飛騨地域2(酒造組合・米コンクール)・その他7)
- エ. 入場者数 29,100人

(2) 親子伝統的工芸品体験教室

①実施目的

飛騨地域の代表的な工芸品である一位一刀彫を実際に体験してもらい、一位一刀彫への理解を深め、ものづくりへの関心を高めてもらうため、夏休みを利用して親子による一位一刀彫の体験教室を実施した。

- ②実施日 平成30年7月29日(日)
- ③参加者 親子13組 27名
- ④実施場所 地場産センター 4F

(3) 地域活性化促進事業

下記の事業に負担金を支出し、支援を行った。

・飛騨高山観光客誘致推事業

(4) 情報収集提供事業

新聞情報を中心に、情報収集・整理・提供を行った他、インターネットを通じ地場産製品の発信を行った。

4. 地場産業販路開拓事業

(1) 飛騨高山つくり手の会2018展示会の開催

①実施目的

当地には、地域の風土・伝統に根ざした制作活動を行っているクラフトマンが活躍しており、クラフト作品の発表の場を設けることで制作者の創作意欲の向上や、デザイン・技術の向上を図るため実施をした。

②実施期間 平成30年9月5日(水)～9日(日) 5日間

③実施場所

飛騨・世界生活文化センター コンベンションホール
高山市千島町900-1 飛騨の家具フェスティバルに小間出展

④出展者数 12名

⑤出展作品数 195点

⑥入場者数 33,800人

(2) クラフトマン研修会の開催

①実施日 平成30年9月7日(金)

②実施場所 飛騨・世界生活文化センター コンベンションホール

③講評 デザイナー 西山英熙

④参加者数 11名

II. 収益事業の状況

1. 地場産会館運営事業

施設利用状況

平成30年度の諸施設の使用状況は、下表の通りです。

延べ利用回数 782回（前年比 20回増）

施設利用料収入 4,071,740円（前年比 318,000円増）

単位：円

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
施設利用料	3,292,070	3,543,520	4,327,080	3,753,740	4,071,740
利用回数	670	694	758	762	782

2. 高山市営広小路駐車場管理事業

駐車場利用状況

平成30年度の駐車場の利用状況は、下表の通りです。

延べ利用台数 35,299台（前年比 352台減）

駐車料金収入 13,829,310円（前年比 531,410円減）

単位：円

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
駐車場利用料	12,748,690	14,280,400	15,218,540	14,360,720	13,829,310
利用台数	33,527	36,554	37,496	35,651	35,299

Ⅲ. 管理事業の状況

1. 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ①・第1回理事会 平成30年5月30日(水)
 - ・主な審議内容 平成29年度事業報告及び収支決算等
専務理事(業務執行理事)の選定

- ②・第2回理事会 平成31年3月26日(火)
 - ・主な審議内容 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)等
大規模改修に向けた考え方

(2) 評議員会

- ①・第1回評議員会 平成30年4月1日(日)
 - ・主な審議事項 役員の選任(みなし決議)

- ②・第2回評議員会 平成30年5月23日(水)
 - ・主な審議事項 役員の選任(みなし決議)

- ③・定時評議員会 平成30年6月19日(火)
 - ・主な審議内容 平成29年度の決算書類の承認

- ④・第3回評議員会 平成30年7月1日(日)
 - ・主な審議事項 役員の選任(みなし決議)

- ⑤・第4回評議員会 平成30年10月1日(月)
 - ・主な審議事項 役員の選任(みなし決議)

2. 全国地場産業振興センター協議会への出席

各センターの事業運営について意見交換するとともに、現地視察を行った。

- ・総会 開催日 平成30年7月5日(木)
場所 福山市ものづくり交流館
主催 (一財)備後地域地場産業振興センター

3. その他

①施設の修繕

- ・高圧受電設備改修工事
 - 工事内容 高圧ケーブルの取替 L=84m 他
 - 工事費 972,000円